昭和58年
9月1日
第212号
発行所　津奈木町役場
編集　企画課
印刷所　水俣旭印刷所

町報つなぎ

人口と世帯
（8月1日現在）
人口 6,241（−10）
男 2,970（−8）
女 3,271（−2）
世帯 1,718（0）
（　）内は前月との比較

躍進目指し漁業近代化施設など二億円投入

漁協、平国の大型漁港に移転　大泊から11月予定

大型トラック通行、県道赤崎に泣き所

▲平国の合串漁港に新築された津奈木漁協

不知火海の大型漁業基地をめざして急ピッチで工事が進められている。平国の漁港（合串漁港）に現在大泊にある漁協事務所が十一月頃移転する。

平国の新しい漁協事務所は漁港に面した鉄筋コンクリート造り一部二階建延べ、七二七平方メートルに事務所、会議室、冷蔵庫、荷捌所など備え、漁協関係者も自慢する立派な建物である。尚、大泊事務所は支所として活用される。

ここで簡単に漁協の概要を述べると、昭和二十四年、大泊漁港に漁協事務所を設立して以来今年で三十四年。この間、漁協も時代の流れと組合員の要望に即応して、昭和四十五年より共済事業、四十八年からは金融事業と取組んできて、現在は正組合員二二五名、事業では貯金三億三千万円、鮮魚取扱高二億円など、組合事業は堅実な伸びという。

平国での新しい漁協施設利用について、関係者の話では、流通改革の目玉、荷捌所は新しい仲買人の加入と対岸、天草からの水揚げと同時に伸び悩み状態の共販体制を見直して、将来全量共販にもってゆき販売部門の大巾な伸びを期待。

また、荷捌所の屋上を、タチ、グチ、エソ等のみりん干を主体とした婦人部の加工品干場にあて、今年完成する重油タンク五十キロリットルをもって組合員の全燃料を取り扱いたい意向という。

昭和五十七年度から六十年の四年間に、こうした漁業近代化施設の整備に総額一億三五〇〇万円を投じ一気に大型漁協並みの設備を今後どう生かすか漁業関係者の運営が注目される。

また一面、大型漁港にともなう大型トラックが進入できない県道に泣き所があり、改修に将来赤崎港の埋立て、修築が大きな課題になるものと考えられる。

○地域沿岸漁業構造改善事業実施計画概要一覧表

区分	事業種目	設計単位	事業実施主体	事業年度	事業量	事業費	負担区分			
							国補助庫金	県費	町費	その他
増養殖場整備事業	増養殖場造成改良事業	つきいそ自然石	町	年度 59 60	自然石 400㎡	千円 12,000	千円 6,000	千円 4,000	千円 2,000	千円 0
漁業近代化施設整備事業	漁船漁業近代化施設整備事業	漁船漁業用作業保管倉庫	漁協	59	倉庫 330㎡	21,600	10,800	4,320	5,000	1,480
		燃油補給施設	漁協	58	重油タンク 50kℓ	17,400	8,700	3,480	1,630	3,590
	流通改善施設整備事業	水産物荷さばき施設	漁協	57〜58	荷さばき所事務所	71,988	35,994	14,397	10,000	11,597
		水産物鮮度保持施設	漁協	60		24,000	12,000	4,800	5,000	2,200
	小計					134,988	67,494	26,997	21,630	18,867
漁村環境施設整備事業		漁村センター	町	60	鉄筋コンクリート2階建 500㎡	60,000	30,000	12,000	18,000	
事業費計						206,988	103,494	42,997	41,630	18,867
附帯事務費						4,623	2,311	1,865	447	−
合計						211,611	105,805	44,862	42,077	18,867

消費生活移動センター開催　九月二十七日　10時〜12時まで　改善センター

9月15日〜21日　敬老の日・老人福祉週間です

現在、わが国のお年寄り（65歳以上）は1千万人を越え、総人口の約9％を占めています。この割合は今後ますます増えるものとみられ、33年後の昭和90年には20％を超えると予想されています。5人に1人がお年寄り――高齢者問題は今や国民全体の課題であると言えます。9月15日は「敬老の日」、15日〜21日は「老人福祉週間」です。

楠本十市郎さん

斉藤チクさん

岩崎モイさん

町内長寿百傑 S58年9月1日現在 〝いつまでもお元気に〟

順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令	順位	部落	氏名	年令
1	日当	岩崎モイ	96	21	新川	川崎清吉	90	41	平国上	野崎ヤヲ	88	61	新川	浜本マツノ	87	81	日添	佐々木貞吉	85
2	中尾	斉藤チク	95	22	日当	開田キミ	〃	42	平国下	長浜チソ	〃	62	中尾	川野カノ	〃	82	町中	志崎鳥末	〃
3	倉谷	楠本十市郎	94	23	新川	元村キク	〃	43	新川	川崎キツ	〃	63	小津奈木	真野カメ	〃	83	倉谷	岩本キクノ	〃
4	竹中	鶴野ツジ	93	24	日当	宮島持平	〃	44	中尾	農口ルイ	〃	64	大泊	柳迫次三	〃	84	平国上	野崎トメ	〃
5	古中尾	今川シゲ	〃	25	染竹	蟻川サク	〃	45	平国上	諫山彦市	〃	65	染竹	松田義行	〃	85	古川	船場長市	〃
6	中尾	浦田ミヨ	〃	26	浜崎	元村己代次	〃	46	日当	林田義人	〃	66	小津奈木	石田かつ	〃	86	平国下	長浜チヲ	〃
7	日添	佐々木倉次	〃	27	内野	山川甚太郎	89	47	日添	林田サヽヲ	〃	67	中尾	福田ノエ	〃	87	小津奈木	永松清次郎	〃
8	〃	林田荒喜	〃	28	倉谷	前田サトエ	〃	48	大泊	柳迫庄市	〃	68	日添	諫山雪太	86	88	染竹	鶴山ツルジュ	〃
9	小津奈木	永里勝人	〃	29	〃	岩本ツキ	〃	49	日添	伊藤竹久馬	〃	69	〃	篠原チカ	〃	89	古中尾	原野シズモ	〃
10	古川	山本兼八	〃	30	桜戸	沢田才吉	〃	50	古中尾	沢田藤十	〃	70	染竹	福岡マジュ	〃	90	新川	浜本庄三郎	〃
11	竹中	鶴野満真	92	31	日当	千々岩正勝	〃	51	日当	森本安熊	87	71	平国下	長浜善吉	〃	91	古川	芦浦サキ	〃
12	日添	竹田卯助	〃	32	〃	岩崎新蔵	〃	52	大泊	山口太作	〃	72	古川	山本チト	〃	92	平国上	松本安登	〃
13	新川	芦浦キタ	〃	33	中尾	平居己由	〃	53	福浦	福田弥作	〃	73	上下門	門崎善太郎	〃	93	日当	上村トシ	〃
14	平国上	浜田キマ	〃	34	平国下	浜田嘉市	〃	54	大泊	柳迫ヨシノ	〃	74	大泊	椎葉忠義	〃	94	中尾	坂口寿太郎	〃
15	日添	吉野藤寿	91	35	内野	豊田タキ	〃	55	〃	山本茂吉	〃	75	竹中	本山辰喜	〃	95	古中尾	田畑シズエ	〃
16	小津奈木	中村ツヨ	〃	36	染竹	前田チエ	〃	56	福浦	福山チワ	〃	76	古中尾	永田辰彦	〃	96	染竹	下川重義	84
17	大泊	松本ハマ	〃	37	日添	竹田シモ	〃	57	中尾	農中セト	〃	77	桜戸	成田タヲ	〃	97	上下門	谷口重義	〃
18	日当	松本長三郎	90	38	大泊	佐々木キノ	88	58	日当	伊藤キモ	〃	78	大泊	佐々木サエ	85	98	日当	伊藤四郎作	〃
19	〃	林田ムカ	〃	39	桜戸	前坂スヲ	〃	59	大泊	柳迫マサ	〃	79	古中尾	久村篤	〃	99	浜崎	福島末喜	〃
20	桜戸	浦口スエノ	〃	40	日当	若島忠馬	〃	60	古中尾	山崎直次郎	〃	80	浜崎	林津久茂	〃	100	〃	前坂一	〃

お世話になりました

前教育課長
鶴田幸人

退職まであと三六五日、それからの日々は、またたく間に過ぎて退職のご挨拶の時となりました。

退職の日が近づくにつれ、職場では仕事に追われ、みんなからは「課長、課長」とおだてられさほど感じないものの、一人になると、〝これから一人ボッチ〟ふっと淋しさがよぎる。そんなある日〝ロマンの都ベニス・スイスアルプス氷河特急〟の旅行案内、早速「特休は有意義に使わなくっちゃ」とみんなには内緒で行って来ました。

雪に覆われたマッターホルンの雄大さ、きびしさに胸のときめきを覚えたのは気圧の関係だけではなかったようでした。

ところが「どうして奥さんと一緒じゃなかったの」「どし奥さんな連れちゃ行かんじゃったんな」の質問ばっかり。旅は一人でするものと思っていた私、なるほど私にも家庭はあったのでした。

それでは日本アルプスでもと夏休みに妻と信州の旅へ出かけました。安曇野の貸自転車屋で一台申し込んだら、ハナ肇に似たオジさんに「オジちゃん大丈夫かい」と何度も念を押され、今度は年寄り扱いか、と思いつつ妻と二人乗りして一時間余り道祖神参りに。

お盆に妻の妹たちから赤座ぶとんを贈られて還暦に気づいた次第。

これから無理せず、ふけこまずもうひとふんばりと思っています。

永い間お世話になりました。

■古中尾・倉谷の舗装など7千万円を入札、着工

○福浜漁港海岸保全事業（赤崎）
事業費　33000千円
消波工　延長＝64 m
工　期　9月下〜59年3月15日まで

○福浦漁港局部改良事業
事業費　16000千円
消波工　延長＝44 m
工　期　8月24日〜59年3月15日まで

○日野越線局部改良工事（倉谷）
事業費　5600千円
舗　装　延長＝275 m
工　期　8月24日〜9月20日まで

○古中尾線舗装工事
事業費　5280千円
舗　装　延長＝258 m、巾＝5m
工　期　8月24日〜10月31日まで

○津奈木太郎線舗装工事
事業費　8000千円
舗　装　延長＝220 m
工　期　8月24日〜10月17日まで

○交通安全施設設置工事（町一円）
事業費　2800千円
ガードレール＝218 m
カーブミラー、13ケ所

九月の行事

極早生温州（堂脇）

三日○県総合青年祭（四日まで）
　場所　本渡市
十一日○津南保育園運動会
　場所　津小グラウンド
　○町民のための海洋性スポーツ教室（後期）
十四日○敬老会　改善センター
十七日○県民体育祭（十八日まで）
　場所　熊本市
十八日○津奈木保育園運動会
十九日○信用金庫旗　協会ソフトボール大会（ナイター）
　場所　総合グラウンド
二十一日○秋の全国交通安全運動（三十日まで）
　○住民レントゲン検診
二十五日○津奈木中学校運動会
　○津奈木幼稚園運動会

町民体育祭　熱戦の結果

野球・平国下◀連続優勝▶競舟・大泊

◀うたせ船からスタートする競舟（競舟大会より）

去る、八月十三日から十四日にわたり、総合グラウンドでは、野球大会が、続いて十五日は、大泊漁港で、競舟大会が開催された。

野球大会初日は、AC両コートで十二試合が行なわれた。

応援に駆けつけた里帰りの家族からもさかんな声援をうけながら終始熱戦が展開された。

優勝戦は、ともに平国同志の対決となった。八回表、平国下が逆点、昨年に引き続き連続優勝を遂げた。

又、競舟大会は、台風の接近で天候が心配されたが、三十分開会を早め開催。大泊チームより優勝旗並びにBG杯が返還され、次いで内野地区の山口武久選手が〝この伝統行事をいつまでも守り続け力一杯最後まで頑張ります〟と力強く選手宣誓を行った。レースは沖合の停泊した打瀬船をスタートに五百mの直線コースで行われ、一チーム三回レースの総合得点制で順位を決定したが、日当、小津奈木、大泊が同得点となり優勝決定戦を行った結果、日当、小津奈木をおさえ、大泊チームが連続優勝を飾った。

順位は次のとおり
一位　大泊チーム
二位　日当チーム
三位　小津奈木チーム

高血圧

わが国では、高血圧の人が四十歳以上で二十〜三十％もみられるといわれています。血圧の判定は図に示しました。四十歳未満の人では一四〇／九十以上を高血圧と考え、経過観察が必要です。

血圧は気温、運動、精神的ストレスなどいろいろな要因で変動しやすいので唯一回だけの測定ではなかなか高い低いをきめかねることが多いのです。血圧測定は、機会があったら、その都度うけることが大切です。単に高血圧を見つけるだけでなく、個人個人が自分の血圧値とその意味を知っておくことが、健康管理の第一歩といえましょう。

高血圧には、腎臓病や心臓病などが原因でおこる二次性高血圧と現在のところまだ原因が明らかになっていない本態性高血圧があります。高血圧の状態が長年にわたって続くと、脳、心臓、腎臓などの重要な臓器に障害がおき、種々の症状が現われて、死につながってきます。最っとも多いのは、脳血管障害です。これらの合併症を予防するには、まず高血圧の予防、さらには、治療が必要なわけです。

日常生活を健康的に規則正しく過ごすことが大切です。食生活では減塩と肥満対策が中心となります。塩分を少なくすること、適当なカロリー量、栄養素のバランスを考え、動物性脂肪をとりすぎないことです。特に子供のころからの食生活の良い習慣づけが大切だと考えられます。

保健婦　五嶋睦子

血圧判定（WHOの分類より）

区分		最大血圧 140㎜Hg未満	最大血圧 140㎜Hg未満 160㎜Hg未満	最大血圧 160㎜Hg未満
最小血圧	90㎜Hg未満	□	▦	⁘
	90㎜Hg以上 95㎜Hg未満	▦	▦	⁘
	95㎜Hg未満	⁘	⁘	⁘

□ 正常血圧　▦ 境界域高血圧　⁘ 高血圧

お知らせ

高さ4メートルのジャンボひまわり
竹中・広田恒夫さん宅

第二回 一般住民レントゲン検診

先に第一回目のレントゲン検診を実施しましたが、まだ受診されていない方は、次のとおり実施しますので、レントゲン検診を必ず受けて下さい。

一、実施年月日
　昭和五十八年九月二十一日
二、時間及び場所
　（午前九時三十分〜午前十一時三十分　津奈木町役場
　（午後一時〜午後二時　赤崎会館
　（午後二時三十分〜午後三時三十分　平国　長浜一郎商店横

無縁墳墓の改葬

次のとおり無縁墳墓の改葬が行なわれますので、縁故の方がおられましたら、昭和五十八年九月十五日までに役場町民課へ御連絡下さい。

一、無縁墳墓の所在地及び名称
㈠熊本県飽託郡北部町大字小糸山字南迫三三六番地
　小糸山本村組共有墓地
㈡熊本県飽託郡北部町大字明徳字寄鶴九八一番地
　明徳原口共有墓地
㈢熊本県菊池郡合志町大字豊岡五十〇番地
　原口古閑組共有墓地
㈣兵庫県明石市大観町十二番二十五号實相院境内
　實相院墓地

昭和五十九年歌会始のお願い及び詠進歌の詠進要領

一、昭和五十九年歌会始のお題は「緑」と定められました。
二、詠進歌の詠進要領
㈠詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限る。
㈡用紙は、半紙とし、毛筆で自書してください。
三、注意事項
　次の場合は、失格となります。
㈠一人で二首以上詠進した場合。
㈡詠進歌が既に発表された歌と同一又は類似した歌である場合。
㈢その他詠進要領によらぬ場合。
四、詠進の期間
　九月一日から十月十一日まで。

町内各小中学校の運動会予定日

津奈木幼稚園　九月二十五日
津奈木小学校　十月二日
赤崎小学校　十月二日
平国小学校　十月二日
津奈木中学校　九月二十五日

住宅や敷地の補修整備と住宅金融公庫

住宅金融公庫では、マイホームの改良資金の申込みを来年二月二十九日まで引き続き受付けております。増改築、修繕工事は今のうちになさることを勧めます。

○融資限度額−工事費の七割で三五〇万円まで。
○金利−年六・五パーセント
○返済期間−十年以内
○融資の対象−増築、改築、台所、浴室の修繕、畳、その他

詳しいことは、お近かくの公庫業務の取扱店又は、住宅金融公庫熊本支所（電話0963・24・2121）へお問い合わせ下さい。

第4回国民年金写真コンテスト

＊題材は自由です。
（一人何点でも応募できます）
サイズ　カラーはサービスサイズ以上四ツ切まで、白黒は四ツ切限定。
応募先　お近くの写真店、役場町民課、社会保険事務所、県庁国民年金課まで。

ふるってご応募下さい。

自殺のおそれのある人　家出して行方不明の人

などをさがしておられる方は、次のとおり
「家出人をさがす相談所」
を開きますので、遠慮なくおこし下さい。
とき
58年9月1日〜9月30日
午前8時30分より午後5時まで
ところ
水俣警察署
防犯係、鑑識係
電話③2171

平国少年消防隊　幼稚園婦人防火クラブ　赤崎小学校PTA　蘇生法の訓練

子供を水から守ろうと、平国少年消防隊は八月五日、赤崎小学校PTAは七月二十五日、水俣芦北消防組合の指導のもとに人工呼吸法、心マッサージ法の訓練を実施しました。又、幼稚園婦人防火クラブでは、八月六日、BGプールにおいて最も安全で確実な水難時の救助法の実施。その後、蘇生法の実技を行ない当町から一人も水難の犠牲者を出さないよう誓い合いました。

冷たい麦茶で安全運転

八月一日から二十日まで夏の交通事故防止運動が行なわれました。本町から一件の交通事故もださないよう八月十一日と十二日麦茶サービスを行ない次の事業所から応援を頂きました。安全協会、安全運転管理者、婦人会、住物冷凍KK、信用金庫、商工会、農業協同組合、役場、特に住物冷凍㈱からは氷二日分、コカ・コーラ水俣営業所から、三百本、ペプシ・コーラ水俣営業所から三百本寄付して頂きました。

また津奈木小学校、赤崎小学校PTA安全部では白線引きをして頂き安全運動に協力してもらいました。

麦茶サービス、白線引と事故防止運動に多大な御協力を頂きありがとうございました。今後共本町から一件の事故もないよう協力下さい。

秋の全国交通安全運動

白線引き、ごくろう様でした。

九月二十一日から三十日まで、秋の全国交通安全運動が行なわれます。二輪車の安全利用、昼間点灯、ヘルメット着用、シートベルト着用励行の日などを定めすべての人に交通安全思想を普及徹底し正しい交通ルールの実践を習慣づけることにより交通事故防止の徹底を図ることを目的として行なわれます。

運動期間にかかわらず、日ごろから町民の皆様の安全運転による協力を、よろしくおねがいします。

重盤岩の日の丸（寄贈）

大阪市の農添巳之吉（中尾部落出身）さんは、今年病気で入院治療中の所、全快を記念して、子供の頃からよく遊んだ重盤岩に日の丸を是非掲げて下さいという事で一旒寄贈頂きました。

又、中尾部落の緒方孝行さんより、傘寿（八十才誕生）記念として、日の丸一旒寄贈頂きました。

記名の上、掲揚させて頂きます。

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
竹中	山崎桂子	北山ハツエ
上下門	坂本俊行	坂本モキ
日添	諫山フミ子	諫山すま子

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金はご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（敬称略）

訂正とおわび

八月一日号の「本年初盆を迎えられる物故者に謹んで哀悼の意を表します」欄中、古中尾の永里肇を永里馨さんに訂正し、おわび申しあげます。